

日本学術会議 第一部人文・社会科学基礎データ分科会

(第 25 期・第 3 回)

議事要旨

日 時： 令和 3 年 8 月 1 8 日(水) 13 時 00 分～15 時 12 分

会 場： オンライン会議 (zoom) にて開催

出席者：岡崎哲二 (副委員長)、勝野正章、久留島典子 (幹事)、佐藤嘉倫 (委員長)、佐藤岩夫、野口晃弘、本田由紀、矢野桂司 (幹事)、若尾政希、渡部泰明 (10 名、50 音順)

欠席者：坂田省吾

オブザーバー：反橋一憲 (学術調査員)、溝端佐登史 (第一部副部長)

配布資料

資料 1 前回議事要旨案 (2021 年 6 月 2 日メール添付にて矢野委員より配付)

資料 2 分野別委員会委員長あての依頼状 ver. 1・ver. 2

資料 3 収集予定データの一覧 (学術調査員 反橋氏作成)

議事

1. 前回議事要旨の確認

資料 1 について確認され、了承された。

2. 各分野別委員会に依頼するデータの選別と依頼文、回答形式の検討

○依頼文について

資料 2 ver. 2 にもとづき協議した。その結果、主として下記の点について修正を加えた ver. 3 を委員長が作成し、それについて各委員が再度確認・修正を加えることとなった。

- ・「専門職養成」「褒賞」等の依頼項目については、本分科会で調査可能なものは予め四角囲みで依頼文に示しておき、それ以外について分野別委員会にあげてもらい形で依頼する。(本分科会側で把握可能な「専門職」資格を依頼文に追加した)
- ・依頼項目 2. 「大型研究への貢献事例」、同 3. 「国際的学術活動」、については、「2018 年 4 月～2021 年 3 月」という表現で、3 箇年度について回答を依頼する。

○回答形式について

- ・グーグルフォームで回答集約をおこなう。

- ・全体依頼文と各依頼項目に関する文章をすべて回答フォームに貼りこむ形とする。

○その他の論点

- ・「専門職」の定義・理解は多様なので、各分野別委員会からの回答を集約した後に、本分科会としての調整をおこなう必要がある。
- ・年度毎の更新が可能・必要なものは考慮しつつも、基本的に3年を単位としてデータ更新を行う方針とする。今後継続的な更新を可能とする体制を検討していく必要がある。

3. 学術調査員の紹介と業務内容の検討

反橋一憲学術調査員より自己紹介ののち、同氏作成の資料3について説明があった。その後、個々の項目ごとに質疑を行い、調査データの収集方法、優先順位等について、下記の方針で、当面の進め方を決めた。

- ・2018年度～2020年度3年度分のデータをとる。
- ・データ収集が複雑で難しいものについては優先順位を下げ、収集しやすいものから始める。
- ・人社系研究が貢献している、存在感を示している事例を積極的に収集する。

4. その他

- ・今後検討すべきWeb公開方法の課題について、佐藤委員長より提示があった。
- ・次回開催時期および議事予定

今回は11月開催予定とし、先行収集データから順次公開していく際の公開画面の在り方等を検討する。

以上